



平成17(2005)年4月20日

第28号

世田谷稲門会 一勲夫次
 谷倉澤島原 邦利
 稲田江原 邦利
 稲田江原 邦利
 稲田江原 邦利
 稲田江原 邦利

事務局 〒157-0067
 東京都世田谷区喜多見4-33-25
 川村保夫方
 TEL/FAX03-3417-7104

定時総会五月二十二日(日)開催 世田谷区助役 山田真貴子氏が講演

世田谷稲門会の第十四回定時総会は五月二十二日(日)の午後五時より「こまばエミナース」で開催することが決定した。

総会の詳細については、別紙の「第十四回定時総会のご案内」を参照のこと。

なお当日ご出席いただけない場合は、案内状同封委任状(返信用はがき)に記名、捺印の上、ご回答下さい。

総会終了後、早稲田大学よりの来賓の学内事情報告をかねたご挨拶をいただきその後「講演会」および「懇親会」が行われる。

会費は七千円

◆講演会

第二部では世田谷区の助役山田真貴子氏をお招きし、「魅力あふれる安全・安心のまち世田谷を目指して」の演題で講演していただく。

講師 山田真貴子氏

プロフィール

一九六〇年生まれ。

昭和五十九年早稲田大学法



◆◆◆◆◆ 母校の今 第2回

初等部から大学まで
 一貫教育の実現に挑戦



学部卒業。同時に郵政省に入省。

その後、文部省、総務省で数々の要職を経て、二〇〇四年二月、現職世田谷区助役に就任。



わが早稲田に初等部があり、中高等部に男女共学を実施している系列校があることをご存知でしょうか。

二〇〇一年に早稲田鶴巻町から国分寺市に移転した本校は新しい「早実第二世紀」にふさわしいさまざまな改革に取り組んでいる。武蔵野の自然が色濃く残っているキャンパスには、十六年間に及ぶ一貫教育のスタートを切ったばかりの実に可愛らしい生徒が走り回っており、また数年後には各学部へ推薦入学する中高等部の諸君が、クラブ活動に汗を流している。初等部は設立して間もないためこの四月で四年生が最上級生となる。あどけない後輩に接し本校の景観と諸施設を見学するために是非一度訪問なさることをお勧めします

(川村保夫/撮影・細澤勲/記)

新年会

ビンゴゲームで童心に 瀬古利彦氏講演好評

恒例の世田谷稲門会の新年会は、一月二十九日にこまば

エミナースで開催され、来賓を含めて、百三十二名が参加して盛大に開催された。

第一部は鈴木宏治幹事長の司会でスタート。岩上健一副会長が講師の紹介、マラソンの瀬古利彦氏が「箱根駅伝を終わって」と題して講演を行った。

本物の嘶家顔負けの洒落なユーモア溢れる話術で経験談を交えたマラソン人生を紹介する中にも、後輩の競走部員への温かい眼差しが感じられた。

OB諸氏からの応援を募る「早稲田大学駅伝サポート倶楽部」へ勧誘するなどあつという間の一時間であった。

会場の鳳凰の間には写真部会の方々が日ごろの腕を揮われた写真が展示され会場に華を添えた。

第二部は会場をダイヤモンドの間に移しての和洋食バイキング。今回は卒業年度の近い者同士がテーブルを囲んだ。

来賓の近隣稲門会役員と新会員の紹介のあと、

土倉享一会長が挨拶・乾杯をおこない宴会がはじまった。食事・アルコールも入り、一段落したところで、恒例のビンゴゲームがスタートした。

柏良子副会長、荏司真恵幹事など女性会員の議事進行で華やいだ盛り上がりを見せ会員から寄贈された豪華景品が次々に渡された。

最後は岩上健一副会長の音頭で校歌を斉唱し、山口進吾副会長の中締めで締め括った。

なお 次の方々からビンゴゲームの賞品を寄贈していた。

(敬称略・順不同)
石井孝之、松村秋森、斉藤正憲、寺澤隆夫、岸田正和、川

村保夫、細澤勲、内藤隆福、岩上健一、山口進吾、柏良子、



熊本昭二、横田吉明、こまばエミナース

「駅伝サポート倶楽部」案内
早稲田大学スポーツ振興を願う大学関係者が集い、ラグビーと並んで正月のビッグイベントでもある「箱根駅伝を応援するため、(WESSC)が誕生した。その目的は競走部の箱根駅伝優勝を支援し応援することにある。入会金(年会費)一口壱万円のご負担をお掛けしますが、趣旨にご賛同の上多数の入会を希望します。

連絡先 ウエスクラブ
担当・口元周策氏・電話〇三
一三二〇二一八〇三一

〇五年『東京都二十三区支部大会』開催

二月十六日(水)午後六時から「リーガロイヤルホテル東京」で、東京都二十三区支部大会が開催された。他支部からの二〇名を含め三七八名の参加を数え、第一部では中曾根元首相の「静かな革命・日本の転換」と題する講演が行われ、第二部の懇親会では白井総長と小林校友会代表幹事の挨拶の他、手塚支部長から大



学側へ百二十五周年記念事業募金の贈呈を行い、その後懇親に移り、ポニージャックスの歌を楽しんだ。

部 会 報 告

ボウリング部

- (1)新年度の予定 前年度に引続き、毎月1回、第3または第4日曜日に世田谷オークラボウルで、渋谷稲門会と合同で例会を開催。11月は合同開催100回目を迎えるので、特別記念大会とする予定。
- (2)人事 世話人は、会員数が18名と少数のため2名、武藤哲(28法)、宮木甫(30文)とし、代表は武藤が担当。
- (3)活動実績 11月28日(日) 参加者17名 高得点ベスト3 178点新井武・155点佐山順孝・146点江口力。新井さんがスタート直後ターキー(3連続ストライク)を出して快調に飛ばし実力通りの最高点。
- 12月26日(日) 参加者17名 高得点ベスト3 178点佐山順孝・144点武藤哲・143点江口力。佐山さんがスピード豊かな投球で殆どミス無しの見事な高得点。
- 1月30日(日) 参加者11名 高得点ベスト3 192点江口力・158点新井武・145点山口進吾。江口さんが絶妙のコントロールで魔術師的な技。自己記録を大幅に更新しての新記録!!
- 2月はオークラボウル場内改装工事のため、例会休会。3月1日新装開店。
- 現在、運動不足から生活習慣病になる人が多いとか、ボウリングは疲労感も少なく、高齢者にも手軽にできるスポーツ、ボウリング場も新装なって快適な環境、健康増進、ストレス解消のためにも、さあ皆さん始めて見ませんか。家族同伴大歓迎、ご参加お待ちしております。(武藤 哲/記)

スポーツ観戦部

平成16年12月5日80回目を迎えた関東大学ラグビー対抗戦、伝統の早明戦を国立競技場で観戦しました。ラグビー早明戦は入場券の入手も難しいところ、山口世話人の尽力により20名が参加し、大いに楽しみ勝利の喜びを味わいました。

今シーズンの早稲田は死角ナシと言う前評判でしたが早明戦だけは別もので、熱戦を展開し 49:19 の快勝でした。清宮監督の指導のもと、史上最強と言われたFWに加え、本来のオープン攻撃で久しぶりに強い早稲田を観戦出来ました。追記:2003年に13年ぶりの日本一を奪回しながら2004年は苦敗を喫した大学選手権の相手は4年連続関東学院でしたが31:19 で勝利し2年ぶりに日本一に復活したシーズンでした。来年も強い早稲田を期待し、みんなで観戦に行きましょう。(岸田 正和/記)



写真部

2005年の写真部会の初の行事は1月29日(土)世田谷稲門会の新年会に写真展を行う事であった。写真部会は発足して2年弱でレベルは上がっていた。しかし写真展をやる事には戸惑いがあったが、世話人の打ち合わせで、実行する事に決め、場所の下見をし、展示の方法を決め、部会員に出展の募集をした。条件は大きさは半切以下、枚数は2枚までとして連絡、何人集まるかと危惧していたが、13名22枚(銀塩9名、デジタル4名)と言う期待以上の集まりであった。展示方法も移動壁に吊るす方法であったが、豊田世話人のお世話で器具を借用出来、当日早く集まり、うまく設置出来た。作品の事前の審査はなく、皆さんの選んだ作品でぶっつけ本番で展示しましたが、皆さんの作品は素晴らしく期待以上の出来栄で、ご覧頂いた皆さんのご評価も上々でした。



この催しは部会員に大きな励みになりましたので、今後も機会を見て、展示会を行い、世田谷稲門会の皆さんのご批評を頂きたいと思っています。

今までは代表世話人の時間が取れず、回数が多く取れませんでした。4月からは平日でも撮影会、例会を行う事が可能になりましたので、回数を増やして行うようにしたいと考えています。4月は桜の撮影会を実施致します。

(写真部会 代表世話人 種谷 鴻成/記)

釣 り 部 会

3月10日夕刻より初めての釣り部懇親会を銀座の「魚や一丁」で開催した。10名の参加。最近入部希望者が増えてきており、会員22名となった。当日は4月以降の行事予定、日程のアンケートを提出してもらったが、船の小物釣りが多く、新たに一泊旅行、魚料理教室の希望もあった。

今後の予定

3/27・4/24 いしもち金沢八景新健丸

5/29・6/26 きず磯子根岸丸

7/31 かさご、たこ、金沢八景新健丸

秋のはぜ釣りはウィークディに江戸川にてボート釣り、一泊旅行は網代世田谷区保養所泊で網代湾ボート釣り、又は城ヶ崎海岸中央区保養所泊で磯釣り、秋には再度懇親会を三千円会費で行う予定。

(柴田 昇/記)



ウォーキング部会

去る2月13日の日曜日は今までとは違い、江戸情緒が残る下町が目的地となりました。今回からは企画担当が新井さんと河内さんが交互に企画することになりました。(毎月の開催でかつ事前調査が必要となるだけに一人では大変な仕事だったと思います。)

今回は13時に大江戸線の「清澄白河駅」に集合して、深川江戸資料館を見学してから清澄庭園へ行きました。同園は紀伊国屋文左衛門が造園されたの説もありますが、確かなのは岩崎家が自社の汽船を使い日本全国から名石・奇石を集め約25000坪の「回遊式林泉庭園」としたのだそうです。庭園内にはかの有名な芭蕉の「古池や かわづ飛び込む 水の音」の石碑がありました。そして嬉しいことにボランティアの女性が無料で庭園のいわれや、石・樹木の説明をしてくれました。



清澄庭園

次いで隅田川沿いの芭蕉庵史跡庭園を見てから、川沿いの遊歩道を歩き新大橋を渡り浜町公園→明治座を右手に見て甘酒横丁から人形町・水天宮まで約5km、3時間弱のウォークでした。下町らしい雰囲気や人形焼や深川飯の素、佃煮を買った方もいたようです。参加者は16名で新春の一日を楽しく歩きました。

ウォーキングに参加したい方はどうぞ世話人の新井武さん宛お申込みください。(T&F 3425-4118) 毎月中旬開催、約4~5km、2~3時間です。(寺澤 隆夫/記)

食べ歩き部会

11月14・15両日に亘り平成16年度第2回例会(飯坂温泉1泊観光旅行)を実施。参加者27名。14日12時各自、東北新幹線福島駅に集合。直ちに福島競馬場に向い貴賓観覧室で昼食会及び競馬レース観戦を行った。16時30分福島出身の名作曲家古関裕而(「紺碧の空」も作曲)記念館を訪れ氏の業績を偲んだ。この間瀬戸孝則福島市長(昭和45法)をはじめ「福島早稲田会」の幹部諸氏の熱い観迎を受け世田谷稲門会との交流の絆を深くした。宿泊は飯坂(穴原)温泉の摺上川溪谷に面した格調高い旅館吉川屋で夕



野口英世記念館(英世生家)前にて

食宴会、二次会のカラオケ大会が盛大に行われた。翌日は福島観光交通のバスで紅葉鮮やかな裏磐梯ルートを走行。自然の不思議がエメラルドグリーンやコバルトブルーなど鮮やかな色をつくり出す五色沼の散策、黄色に染まった落葉松林に囲まれたホテルリステル猪苗代での昼食会、野口英世記念館・世界のガラス館の見学等あらためて深い感銘を受け15時30分郡山駅着解散。贅を尽くした旬の味や、素晴らしい風景を堪能し、心温まる地元のもてなしに感動した旅であった。

(大須賀 肇/記)

囲碁将棋部 会

昨年12月4日の懇親会の席で決まった湯河原の合宿を早速実行に移す。3月6日(日)朝9時半に皆で成城に集まり小田急で出発。湯河原にて昼食後杉の宿に1時に到着。直ちに囲碁を打ち始める。日曜の昼下がりのこともあり、梅見の季節にもかかわらず客はまばら。ほとんどわれわれだけの貸切の状態である。参加者は全部で10名総当り、ゆったりとした大部屋でわれわれだけの碁会が始まった。対局の合間を縫って三々五々に風呂に行く。ここ別館5階にある露天風呂は早春の日差しを浴びて、周囲の山々の稜線がくっきりと見え、春緑が目映え気持ちがいい。夕食まで5局打つ。夕食は新鮮な魚介類の船盛を囲んで飲み放題の懇親会を開催、更にカラオケへと場所を移す。翌日は湯河原市主催の梅見としゃれ込んだ。

これを機会に囲碁将棋部のPRをさせて頂く。部員は目下の所、総勢で有段者、級位者を含め28名。ほとんどが囲碁だが、囲碁部員で将棋も指すのが4名いる。棋力は7段を筆頭に5級程度まで様々だが、ハンデがあるのでさほど気にならず、高段者から級位者まで和気藹々で打てるのがいい。世田谷稲門会の囲碁の例会は年間5回3月、6月、9月、11月、12月、この外に5月にオール早稲田囲碁大会、10月に囲碁の稲穂会を含めると年間7回を数える。

将棋についてもオール早稲田将棋大会のほか、渋谷稲門会等との将棋大会がある。両方を含めると年間9回以上にもなる。更に今後はもっと広がる傾向にある。

以上年間の行事も盛りたくさんなので、今後とも出来るだけ多くの方々が参加されることを願っている。

(矢田 廣/記)



麻雀部 会

当部は皆様のお力添えの下、創部以来7年弱の歴史と60人強の部員を擁し活発に活動致して居ります。以下、活動の一端をご報告致します。

(1) 1月15日(土) うらかな一日25名の口と腕自慢の面々が集い白熱した戦いを展開した。初回、役満をモノにした菊池氏が老成、有利氏の猛追を二点差でかわし辛勝した。

優勝 菊池吉晏、準優勝 有利純太郎 三位原諒子 四位草野昭次 五位原明 六位蒲原信一

(2) 2月19日(土) 立春とはいえ肌寒い一日、29名の勝負師が集まり、和気藹々の中にも気迫のこもった戦いを展開した。試合は暮田、江口、吉村、三氏の争いと誰しも思ったが、この三氏が、いずれも最終回、マイナスで苦しむなか、それ迄中位につけていた郡山氏が最終回大量得点をたたき出し、初めて優勝を遂げた。

優勝 郡山弘文、準優勝 江口力、三位暮田忠雄、四位吉村善智、五位竹村晃、六位蔭山康夫

(3) 3月15日(土) 「だんとつ」が諸般の事情から店を閉じたため、前回と今回は緊急避難的に三軒茶屋の「サバナ」で試合を行った。広い会場が区内では少なく会員の皆様には御迷惑をお掛けしたことを、この場でお詫び申し上げます。四月以降は、祖師谷大蔵駅歩三分の「天狗」で安定的に開催出来る予定です。

試合の方は、26名の兵が集まり手に汗握る熱戦となりご夫妻でご参加の河村卓郎氏が追いつがる国沢氏に2点の僅差で逃げ切り、初優勝を遂げた。ご婦人はご主人が他の会員諸氏に憎まれぬよう、メーカーに甘んじた。仲々出来た奥様である。

優勝 河村卓郎、準優勝 国沢俊一、三位江口力、四位池田良夫、五位桜庭弘道、六位有利純太郎

(下谷内 堯/記)

ゴルフ部 会

ゴルフ部会第42回が4月5日中津川CCにて行われた(39名参加)。前日の雨模様から打って変わってこれぞ春という好天のもと、桜も3分咲きながらお花見ゴルフとしゃれ、和気藹々また厳しい戦いの中、見事に栄冠を獲得されたのは次の方々です。



河村さん・田村さん・浜田さん・江口さん

総合優勝：浜田康夫さん、グランドシニア優勝：江口力さん、レディース優勝：田村紘美さん、ベストグロス：河村卓郎さん

第2戦は6月3日(金)大月CCでの開催となります。

なお、今年度より代表世話人が平井恒夫さんより森昌治さんに代わり、世話人に熊谷慶紀が加わりましたので、どうぞ宜しくお願いします。

(熊谷 慶紀/記)

カラオケ部

平成13年に発足した当部会も順調に成長、楽しく活動しています。今回はその概要をご紹介します。

- (1)会員数 44名(男性37名、女性7名)
 (2)世話人 部会長 齊藤政二郎(統括・指導)
 世話人 蒲原信一(渉外) 清水明雄(企画会計) 大須賀肇(監査) 荒井清(総務) 前川俊子(総括)

(3)会員の特徵

歌、大好きの人々ですが皆さん多趣味でゴルフ、囲碁、麻雀、食べ歩き、ボーリング等、一人平均3つ程の部会に所属しており世話人はスケジュールの調整が大変です。又、年齢幅が大きく、下は20歳代、上はなんと100歳の長老が頑張っています。従って歌の好みや、ジャンルも多岐にわたり、新曲・ナツメロ・演歌・ポップス・バラード等大変賑やかです。

(4)年間・活動スケジュール

1月 例会(新年会を兼ねる) 3月 例会 6月 例会
 9月 特別部会(カラオケ泊旅行) 11月 例会(総会を兼ねる)

1月の新年会は池の上のカラオケサロン「トレモロ」で開催、当会場はフロアも広くダンスも可能です。3月・6月・11月の例会は用賀のカラオケボックス「ドレミファクラブ」の個室を借り切り開催、何れも土曜又は日曜日の午後でフリードリンク、軽食付きのサービスもあり楽しい一時を過ごしています。9月の特別部会は当部会のメインイベントで温泉地の中から評判の良い宿を選び一泊旅行を行います。この時はカラオケだけでなく、地元の名物料理や名所、旧跡等、周辺の観光も楽しむ欲張りな旅です。今までの実績は伊香保・石和・塩原の老舗の宿で今年は箱根方面を計画中です。

(5)その他(費用)年会費 1000円 例會会費 3000円~3500円 特別部會会費 23000円前後
 (蒲原 信一/記)

ブロック会報告

西北会

今年最初の西北会が、3月2日〔水〕12時より港区南青山にある「NHK青山荘」で行われた。昼間にもかかわらず、20名の参加で盛大に開催できた。

今回は、母校の理工学部が2007年〔平成19年〕に3学部編成され直し、新たな飛躍を目指すということで、理工学部で永年に亘り教授・学部長を歴任された西北会のメンバーでもある加藤栄一さん〔22年理工卒・写真〕に、「母校の理工学部の今昔」と題してお話をいただいた。

加藤さんは今回のために現在の学部長に直接取材される等事前の準備をされ、内容も充実、時間のたつのも忘れ話に引き込まれ、活発な質疑も行われた。

理工学部・大学院理工学研究科の再編は先進理工・基礎理工・創造理工の3分野とし、理学・工学の世界最高水準の教育・研究拠点を指向することです。

また、医学部設置の是非・功罪や今進んでいる他の大学医学系との連携、日本の先端に行くナノテクノロジーや人工心臓への取り組み等、大変興味深いお話を伺うことができた。



(横田 吉明/記)

きぬた会

久しぶりとなったが、4月3日(日)17時30分より、きぬた会では以下のような会を開催した。(会場は成城学園前駅南口、レストラン「マ・メゾン」)。予定としては①お話を聞く ②飲み食べ語る ③夜桜を見る だったが、桜の開花が遅く、残念ながら③は中止となった。出席者は他のブロックのゲストを含め22名だった。

お話は、きぬた会会員の富永孝子さん(昭30文)にお願いし、著書「大連・空白の六百日」について、敗戦後、ソ連軍や共産系の暴虐や抑圧のなかで生き抜いてこられた体験、40年後の取材の裏話、そしてなぜこのようなことが起きたかという疑問・動乱の中に生き、死んだ人々のことなど、聞くものは深い感銘を受けた。

4月3日は、例年ならば桜の最盛期だが、西行法師ではないが桜の散り際になぞらえ、死についても考える日であったかと思う。奇しくも、富永さんのお父様の命日に当たるとこの日、ローマ法王が亡くなられた。戦後、危機にひんする大連の日本人の情報を、日本やアメリカに伝えたのはカトリック教会の神父・修道尼の命がけの連絡によるというお話に何か因縁を感じる。

今後、男の死にざまについてのノンフィクションを書かれるという富永さんに期待は大きい。

※なお、次回は露木茂さんのお話を中心に予定している。(宮木 甫/記)



さくら会

第5回世田谷稲門会さくら会は平成17年4月3日(日)13:00PMより桜新町のイタリア料理の店「ラピアンタ」で開催。参加者総勢16名。例年よりやや参加者は減ったが4月は入学式さくらの花見等イベントも多く行事も重なりこれも止むを得ない。しかしながら、今回は世界的に有名な岡村喬夫氏及び三越劇場でシャンソンを歌っている花田玲子さんが出席されました。

氏はオペラ会の重鎮であり、早稲田のご出身です。これを機会に同じ早稲田の集まりであるさくら会でイタリアオペラの歴史から解きほぐし16世紀よりメジチ家のこと、十字軍、中世の貴族社会フレンツエの繁栄等について判りやすく解説していただきました。

さくら会の各部会活動状況及び今後の動向については下記の通りです。

音楽鑑賞：① 上記岡村喬夫氏のオペラの鑑賞を行う。



② 三越劇場にて花田玲子さんのシャンソンを鑑賞する。

③ 4月24日(日)2時より上野の東京文化会館の大ホールで矢田ひろのショパン、ピアノ協奏曲第1番ホ短調作品11を鑑賞する。

その他、観劇では1月21日には西川さんが中心になり8名で新年歌舞伎公演の鑑賞を行った。能の鑑賞も企画中。

以上部会の活動を通じて今後とも音楽鑑賞、観劇、能等を通じて趣味の分野を豊かに広げて行きたいと考えています。次回のさくら会の懇親会は7月17日(日)12時。
(矢田 廣/記)

玉川会

・2005年の玉川会は2月19日の新年会から活動を始めた。場所は二子玉川の“たまゆら”で、二組のご夫妻を含む22名が参加。岡部先輩の乾杯発声で始まり、賑やかに大いに盛り上がった会も平井先輩の締めで幕となった。

・3月3日に2回目のゴルフ会を泉CCで玉川会6名、本部2名の2組で開催。風もなく青空も出てゴルフ日和であったが、まだシーズンオフなのか、スコアに恵まれない人も多かった。

・3月4日に自由が丘の“ラ・リュ”でバイオリンとピアノと詩の朗読を聴く会を開催。4組のご夫妻を含む21名が参加した。演目はヴィヴァルディの“四季”から“冬のソナタ”のテーマソングまで幅広く、詩の朗読では優雅な雰囲気になる。また、全員での合唱もあり、和やかな楽しい時間を堪能した。

・今後は3月下旬に日銀見学会、4月に“唱歌を歌う会”、5月に東京競馬場見学会を予定しています。

(浜田 康夫/記)



千歳会

(1) 新年度の予定 次回は6月、12月に開催予定。場所、内容等は未定。

(2) 人事

世話人・(代表)武藤哲(28法)土倉享一(34政経)山口進吾(33法)鈴木宏治(38商)

(3) 活動実績 第4回親睦会を忘年会を兼ねて開催。

日時 16年12月11日(土)午後5:30~7:30

場所 川島屋宝寿司(芦花公園)

参加 17名(会員数33名)

今回は、鈴木宏治さんの紹介と尽力により、2階のお座敷を貸切にしてもらうことができ、ユツタリとした気分と雰囲気ですべてを堪能することができた。初参加3名のかたを含め17名という始めて半数を超える出席。ほとんどが還暦を過ぎた方々とあって、話題も健康や医療、生活に関わるものが多くなり、また、趣味や思い出話、三面記事にも花を咲かせて、盃を酌み交しながらのアットという間の2時間、来年の再開を約して散会。



散会后、有志のみ8名で、千歳烏山カラオケ店「ビックエコー」に移動。カラオケ部会の顔、蒲原信一さんが、新曲「井の頭線」そして冬そなの主題歌を韓国語で披露。各人、水割等傾けながらお得意の演歌・ポップス等熱唱し最後に「都の西北」を斉唱して散会。

(武藤 哲/記)

「会員のひろば」

小さな提案と楽しみな実行

栗山佳三(昭二十七・商)
小さな提案とは、本当に些細な事です。我々がちよつとした日常的な心掛けて大学や後輩達のお役にたてるという簡単な話しなのです。

それは我々が日常的に買い物とか飲食をしたり、時にゴルフ場で支払いをする訳ですが、その時カードでお支払いいただけませんか?という事です。皆さんのカードを早稲田カードにしたいだけわけです。勿論今お持ちのカードを「早稲田カード」にしたいだけできませんし、今のカードは奥様やご主人に差し上げ、新たにお作りいただくことでも結構です。

そうするとどうなるか?と聞いてみると、皆様の使用額に応じてカード会社から大学に対して〇・〇五%のキックバックがあります。その額は



二〇〇三年度は約六九百万円、この制度が出来た時からですと約七億二百万円という事であります。この数字はまだまだ殖やすことが出来ると思ひます。校友数は現在約四九万人、又現状の早稲田カードの会員数は約六万人でありますから、算術的には仮に各個人の使用額を月三万円といたしますと大変楽しみな大きな数字になると思ひます。

例えばもし四九万校友が全員会員になられ月に三万円、年に三六万円をカードによる支払をしていただきますと、大学側はカード会社から月に七億三五百万円、年に八八億二百万円も受領することが出来るのです。

さして努力する事もなく「大学の為・後輩達の為」に自然となるわけです。我々の「世田谷稲門会」はその規模、活発性において全国一の稲門

会だと思ひます。先ず我々が実行し、全国に発信すればオール早稲田でかなり、(例え半分達成したとしても)大変大きな金額になるのです。是非みんなでやってみようではありませんか!

『かげろうの釣り』著者

加藤須賀雄氏を偲ぶ

柴田 昇(昭二十九・商)

毎年いただく年賀状は、氏が画かれた油絵の絵葉書の賀状であった。今年も興味深く見させていただいていたが、釣り部例会の返書に娘さんから一月七日に亡くなられたと報に愕然とさせられた。小生はこれから高度な溪流釣りテクニック釣り(日本古来の毛バリ釣り)を教えていただこうと思つていたのに。

氏は、昭和十七年商卒で、早稲田大学の公認会計士もなさつていたが、平成十一年に当会の釣り部を立ち上げた年に入会され、早速著書の「かげろうの釣り」、又「同あとさき」の二冊お持ちされ、有難く頂戴した。当書は、釣魚雑

紙「つり人」に一九四六年の創刊号から「釣りに遊べば」「閑話休釣」「行く雲に流れる水に」と題した随筆からまとめた著書であり、溪流釣りに志す方は、ほとんどご存知の名著である。

又日本友釣同好会の狩野川顕彰碑に建立趣旨の撰文もされた。平成十三年に氏のテクニック釣りを实地に拝見させていただいたため、当会の寺島邦夫氏とお伴した。

昨年の商議員会には、お目にかかれなかつたので心配はしてしたが、やはり心不全で亡くなられたと奥様からお聞きした。お焼香の際に頂いた高価なテンカラ竿で、今年も氏の高貴な釣り姿を思い浮かべながら深山で釣りたいと思つている。ご冥福をお祈り致します。



故加藤須賀雄氏(左)と筆者

反日・国費留学生

木村滋(昭二十七法)

区内祖師谷に「祖師谷留学生会館」がある。鉄筋コンクリート五階建て・ローズベージュ・オフホワイトのツートの外壁は世田谷の田園に映えて美しい。

現在、会館には七〇カ国三百十二名の留學生が起居しているが、中国七十五(二四%)、韓国三十六(十二%)が三位アメリカ一〇に比べて目だつて多い。

日本全国ではどうか。昨年の統計で十一万七千三百名、内中国七万七千七百(六六%)、韓国一万五千五百(十三%)が突出して多く、併せて八割に達する。

この数字を見て当たり前の日本人なら、肌がザワザワする程の違和感を覚えるだろう。

反日、侮日を事とする二国が何故これ程優遇されるのか。研修のグレードにより、月額最高十八万余の奨学金は自国の一年分の収入に相当する。

筆者は祖師谷の一人のアメリカ人留學生に、反日留學生

の心情をそれとなく探つても
らった。

結果は「日本人を憎いと思
う気持ちには変らない。然し無
償で貰うものは貰うだけのこ
とで、それで恩を感じることは
ない」が公約数だった。

昨年十二月、東大医学部大
学院で漢方医学研修の韓国人
女性が足掛け四年間に六百万
円の奨学金を受取りながら、
最近二年間は通学せず、自国
で就職していたことが発覚、
百三十万円を不正受給として
返還させられる事件があった。
国費留学生は毎月大学在籍
簿にサインをすることになっ
ているが、その管理が如何に
も甘い。特に中韓両国民には
腰が引ける。先の韓国女性の
場合、担当教官は実態を知り
ながら黙認していたのだ。

「中国の日本に関する歴史教
育は次世代の中国人たちに日
本への憎しみを植えつけるこ
とが目的だ」ニューヨーク・
タイムスの有名コラムニスト



の指摘である。友好の名のも
とに我々の血税が、かくも浪
費されてよいものか。

有志による中国旅行のご案内

水島 豊 (昭四十・政経)

小生が会員の東京都日中友
好協会では、今年度の訪中事
業として、「中国東北三省を訪
ねる旅(訪問地 北京・ハル
ピン・長春・瀋陽・大連)」を
計画いたしました。

今回も北京市人民対外友好
協会の招請で、大変魅力的な
旅になると思います。

ご希望の方には、その時期
になりましたら、また詳しい
ご案内を差し上げますが、ご
一緒に魅力ある中国の旅がで
きますことを楽しみにしてお
ります。

まずはご案内まで。
日程 八月七日(日)より
十四日(日)まで
七泊八日

旅行費用 概算二十六万円位
〒一五六〇〇〇五六
世田谷区八幡山二十五十九

水島 豊
会社 三三〇二一七七一五
FAX 三三〇二一七七一七九

(世田谷稲門会食べ歩き部会
員)

情報ガイド

春季代議員会開催

今年度の春季代議員会は三
月四日(金)に大隈講堂で開
催された。

小林栄一郎代表幹事の挨拶
のあとに、二〇〇四年度の経
常収支決算予想、〇五年度の
予算、幹事選任、推薦校友候
補者承認の件などの協議事項
と代議員・支部長等の異動、
〇五年度稲門祭の件などの報
告事項があった。
最後に白井克彦会長の挨拶
で式を締めくくった。

その後大隈ガーデンハウス
に移動して懇親会が催された。
◇「東京都幹事長・事務局長
会」開催さる

三月四日(金)午後、大隈
会館で開催され、当会からも
鈴木宏治幹事長が出席した。
議事の中で重要事項のみ以
下報告する。

① 一 校友会費納入促進運動の

展開について

* 校友会予算の四〇%を占め
る奨学事業の更なる充実を目
指し、校友会費の納入促進キ
ャンペーンを展開する

一、期間(二〇〇四年八月、
二〇〇七年三月)

二、到達目標

現在の校友会費納入者約八
万人↓十二万人目標。一・五
倍の四万人増加を図る。

三、納入促進運動の進め方

イ、支部・地域稲門会を中
心としたキャンペーン

ロ、職域稲門会を中心とし
たキャンペーン

四、新規校友会費納入を歓迎

イ、卒業後初めて校友会費

を納めた方の会費については、

五千円の内三千円を百二十五

周年記念事業募金に振り替え

る。(地域の百二十五周年記念事

業募金実績となる)

ロ、各稲門会で新規納入者

を獲得した場合は、当該稲門

会に対し一人当たり千円をキ

ックバックする。

② 一 稲門祭福引チケット配布

方法変更

* 支部・稲門会を通して配布。

組織強化補助金を参考とす

る。地域稲門会の実行委員を

推進役とする。(世田谷稲門会

は二〇〇五年は二一〇枚を目

標とする。二〇〇三年は一六

一枚、二〇〇四年は七五枚の

実績。実行委員は鈴木副会

長・幹事長、岩上副会長が担

当)

③ 一 創立百二十五周年記念事業

募金に一層の御協力を

* 世田谷稲門会の寄付申し込

み状況(二月二十二日現在)

世田谷区実績(校友、団体、

法人)一〇七一件で一億一三

六四万四千円となり目標額の

二億一九四五〇万円の五一・

八%(達成率)となっている。

なお他に世田谷区には高額寄

付四千万円強の方がいる。募

金に一層の御協力をお願い致

します。

④ 一 「早稲田学報」リニューアル

学報は大型化し、二ヶ月に

一回の年六回の発行となり、

カラー化される。



新入会・休会・退会の正誤・住所移転等のお知らせ

「名簿（平成16年4月発行）・会報27号記載事項」以降（敬称略）

(新入会員)					
氏名	卒年	郵便番号	住所	電話	FAX
1・戸村 智徳	平11 文	個人情報につき不掲載			
2・岡田 吉郎	昭35理工				
3・須賀 英明	昭42政経				
(退会員)					
P・7 加藤須賀雄 昭17 商					
(変更事項)					
P・20新津 紀彦 昭43 商					

平成十七年度
「世田谷稲門会・行事日程」

◆ 総会・講演会・懇親会
五月二十二日（日）

◆ 納涼会

八月下旬（予定）

◆ 新年懇親会

十八年一月二十八日（土）

◆ 世田谷稲門会年会費払込（振込）のお願い

世田谷稲門会の活動は会員皆さんの貴重な年会費に支えられています。ご協力お願いします。

・世田谷稲門会の事業年度は毎年四月一日～翌年三月三十一日となっています。毎年総会の案内状発送の際に「払込取扱票」（郵便局）を同封しますので、その後速やかに払い込みください。なお、銀行振込みでも結構です。
・年会費の金額は間違いのないように払込み（振込）ください。

単独会員 三、〇〇〇円
ご夫婦会員 五、〇〇〇円

(参考)

郵便局払込 00100-0-12240

銀行振込

世田谷稲門会事務局
みずほ銀行成城支店
普通 1849947
世田谷稲門会事務局

以上事務負担軽減上事務処理が短期間で終了できるようにご協力ください。

事務局会計担当 横田 吉明
Tel/Fax 03-3324-7046

編集後記

「会員のひろば」への多数のご投稿有難うございました。編集方法を変更して2回目の会報をおとどけ致します。前回同様諸兄からの忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。本号発行に際して、さまざまな形で御協力を賜りました関係諸氏に深くお礼申し上げます。又次回発行は7月下旬頃に成る予定です。より良い会報作りに努力致しますので、一層のご鞭撻をお願い致します。（細澤 勲）

会報のカラー・デジタル印刷はお陰様で良い評価をいただきました。

今回も総会の講演者が締め切り間際まで決まらなかつたり、部会の大会がギリギリに開催されるなど、ハラハラどきどきでした。

しかも印刷時には海外旅行中。素晴らしい会報になるよう祈りながらタラップをのぼります。（寺島 邦夫）

新年会などの写真を今回も大内秀行さん、荒井清さんにご提供いただきました。またスポーツ観戦部会の写真は大学の広報から借用しました。有難うございました。（編集部）

皆様の投稿をお待ちしています。詳細は広報担当または幹事へご連絡ください。（編集部）